

下腹部穿通枝皮弁移植による乳房再建を受ける患者様へ

傷病名：みぎ・ひだり 乳房欠損

【患者様用クリニカルパス】

ID: _____ 氏名 _____ 様

月日	入院当日	手術当日(術前)	手術当日(術後)	術後1病日 ~ 第13病日		退院日(術後14病日程度)
	月 日	月 日	月 日	月 日 ~ 月 日	月 日	月 日
目標	手術の必要性と経過について理解する。	不安がなく、手術に臨むことができる。	全身の状態が問題なく帰室する。	不安や痛みがなく、術後合併症なく経過する。		不安なく退院できる。
説明・指導	看護師が入院生活について説明します。医師が手術について説明します。	ご家族の方はラウンジで待機していただきます。 		術後経過については適宜説明を行います。術後の安精度、食事などについて説明があります。 		退院後の生活について説明します。 
検査・処置・治療	麻酔科を受診します。 現在飲んでいる内服薬を確認します。 	 酸素吸入・点滴・皮弁のチェックを医師と看護師が行います。 		発熱がなく水分が摂取できていれば点滴を抜きます。術後2日目以降歩行ができれば尿道カテーテルを抜きます。毎日創部の観察、処置を行い、順次創部のドレーンを抜きます。痛みがある場合には痛み止めを使用しますのでお話しください。		退院時に処置・診察があります。
生活・行動	行動制限はありません。	ベッド上で安静に過ごします。 		術後1日目はベッド上で安静に過ごします。術後2日目から、トイレ歩行ができます。徐々に病棟内・病院内を歩行できるようになります。歩行に不安があれば、看護師が付き添います。		
清潔	手術前に入浴を行います。	入浴はできません。温かいタオルで身体を拭きます。		術後数日はタオルで体を拭きますが、徐々にシャワー浴ができるようになります。退院後のシャワー浴については、医師から説明があります。		
食事	食事に関して制限はありません。	手術当日の朝の食事はできません。	術後すぐの食事はできません。	術翌日より普通食がでます。食事に関して制限はありません。		
その他	心配なことや不安なことは、いつでも看護師に相談してください。 					

注) 予定は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。

岩手医科大学附属病院
形成外科